

第6章 環境・自然 第1節 環境との共生

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H29)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの
環境政策課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値は達成している状況にある。環境審議会開催等により、様々な立場の方から、多角的な視点からのご意見を頂くことができ、現行計画よりもさらに深化した計画が期待される。	H29年度に改善した点	有	無
	最優先	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	0千円	0千円	環境審議会開催数	環境審議会開催数	環境基本計画策定を着実に進めている進捗判断基準として、環境審議会開催回数を指標にしており、5回の審議会を経て概ね次期計画本編の全体像を決定するものとしている。						
	根拠法令	所沢市環境基本条例、所沢市環境審議会条例	H29予算現額	H29決算額(見込み)			H28年度目標	H28実績					
	所沢市環境基本計画(第3期)策定事業	事業の目的及び具体的な内容	0.00人	H28その他職員従事割合 非常勤特別職	実績	-	-	目標達成済					
	期間	H29年度～H30年度	9,418千円	H29その他職員従事割合 非常勤特別職	5回開催(5月、7月、11月、1月、3月)	5回	5回						
		9,418千円	H28その他職員従事割合 非常勤特別職		4回								
管財課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	予算の範囲内で効率的に低公害車の導入を進めた。	H29年度に改善した点	有	無
	優先	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	14,356千円	13,397千円	導入台数 導入実績 導入率	低公害車導入率	公用車の低公害への入れ替えが100%となるまでは、新車への更新を定期的に行う必要がある。						
	根拠法令	所沢市自動車管理規定 環境マネージメントシステム	H29予算現額	H29決算額(見込み)			H28年度目標	H28実績					
	事業の目的及び具体的な内容	大気汚染の防止や地球温暖化の防止の観点から低公害車の導入を推進しており、さらに埼玉県地球温暖化対策推進条例が施行され、取り組みの強化が求められている。	0.63人	H28その他職員従事割合 非常勤特別職	実績	81%	82%	目標達成済					
	期間	H13～	5,402千円	H29その他職員従事割合 非常勤特別職	7台	H29年度目標	H29実績						
		5,346千円	H28その他職員従事割合 非常勤特別職	122台	83%	90%							
			H29その他職員従事割合 非常勤特別職	90.4%	H30年度目標								
環境政策課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	成果指標である、「市域における温室効果ガス排出量の削減率」は年度目標の達成には至っていないものの、民生家庭部門においては、排出量が2013年度から順調に減少していることから、事業による一定の効果が出ている。また、民生家庭部門の取組を推進するため実施している、各種啓発イベント等への参加人数も増加傾向にあることから、当事業が効果的に展開しているものと思われる。	H29年度に改善した点	有	無
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	754千円	486千円	エコライフデーの参加人数 環境講演会の参加人数	市域における温室効果ガス排出量の削減率	民生家庭部門からの温室効果ガス排出量の削減が当該事業の目的であるため、同部門を含む、市域全体の温室効果ガス排出量の削減率(平成19年度が基準)を指標とする。						
	根拠法令	温暖化対策の推進に関する法律・所沢市環境基本条例	H29予算現額	H29決算額(見込み)			H28年度目標	H28実績					
	事業の目的及び具体的な内容	地球温暖化の防止に向け、市域において最も排出割合が高い民生・家庭部門に係る排出量を削減することを目的に、我々のライフスタイルを見直すきっかけづくりに各種の展示会・イベントの啓発事業等を実施する。(事業内容:環境展示会、トコエコグリーンキャンペーン、ライトダウンイベント、温暖化防止動画コンテスト、冬のエコライフデー、エコドライブ講習会など)	0.85人	H28その他職員従事割合 非常勤特別職	実績	2.35	0.82	現在、集計中					
	期間	平成17年度～	7,289千円	H29その他職員従事割合 非常勤特別職	29,773人	H29年度目標	H29実績						
		11,540千円	H28その他職員従事割合 非常勤特別職	618人	H30年度目標								
環境政策課	実施計画ランク	事業の種類	H28予算現額	H28決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	子どもエコクラブについては、登録者数が前年度よりも18名増加している。地球にやさしい学校大賞の調書からは、どの学校もその地域特性を生かした取組実践をしていることが伺えるものである。	H29年度に改善した点	有	無
	重要	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加	1,203千円	1,043千円	環境学習出前講座受講者数 子どもエコクラブ登録者数(サポーター数除く)	環境学習出前講座の受講者数	環境学習出前講座の開催において、一定数以上の受講者数を指すことにより、環境学習を推進する。						
	根拠法令	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律	H29予算現額	H29決算額(見込み)			H28年度目標	H28実績					
	事業の目的及び具体的な内容	主に子ども達の自主的な環境学習や環境保全活動を促進し、環境を大切にすることと行動力を育むことを目的に、子どもエコクラブの活動支援や、地球にやさしい学校大賞の実施、出前講座の開催などの事業を行う。	0.69人	H28その他職員従事割合 非常勤特別職	実績	-	164人	目標達成済					
	期間	平成15年度～	5,917千円	H29その他職員従事割合 非常勤特別職	124人	H29年度目標	H29実績						
		6,279千円	H28その他職員従事割合 非常勤特別職	702人	H30年度目標								
			H29その他職員従事割合 非常勤特別職	23.2点(「平成29年度地球にやさしい学校大賞」結果)	100人								

